

平成26年度

教育に関する事務の管理及び執行状況
の点検・評価に関する報告書
(平成25年度対象)

平成26年9月

美浜町教育委員会

目 次

I	自己点検・評価の考え方	2
II	具体的な点検・評価の方法	2
III	第4次美浜町総合計画（教育委員会関連部分）	3
IV	平成25年度美浜町教育委員会重点努力目標	6
V	みはまの教育・合い言葉	8
VI	施策の成果	
	第1 教育委員会運営	
	1 教育委員会開催の状況	9
	2 教育委員会委員の活動状況	9
	3 教育委員会委員の研修会参加及び研修会開催状況	11
	4 「みはまの教育・合い言葉」の普及活動	12
	5 日本福祉大学との連携	12
	6 学校訪問実施状況	12
	7 学校巡視実施状況	12
	第2 学校教育事業	
	1 児童生徒の指導	12
	2 学校運営	14
	第3 社会教育事業	
	1 社会教育委員会	15
	2 生涯学習センターの運営	15
	3 青少年教育	16
	4 家庭教育	17
	5 文化振興事業	18
	第4 公民館事業	
	1 公民館管理	19
	2 利用状況	19
	3 公民館活動	19
	第5 文化財保護事業	
	1 文化財保護委員会	20
	2 文化財保護事業等	20
	第6 社会体育事業	
	1 スポーツ推進委員会	20
	2 スポーツ大会の開催	20
	3 トレーニング室運営事業	21
	4 社会体育施設等の利用状況	21
	第7 図書館運営事業	
	1 美浜町図書館協議会	21
	2 図書館の現況	21
	3 図書館活動	22
	第8 学校給食センター管理運営事業	
	1 学校給食センター運営委員会	23
	2 学校給食の状況	23
	3 食に関する指導	23
VII	総合評価	25
VIII	点検評価委員による評価	26

I 自己点検・評価の考え方

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、平成20年度から、教育委員会の権限に属する事務の全てにおいて、その管理・執行状況について点検及び評価を実施することとなりました。

美浜町教育委員会としては、これまでも教育の発展のために様々な事業に着手し、その結果等を踏まえて改革に取り組んできたところであります。

政策効果を把握し、必要性、効率性等の観点から自ら評価を行い、その結果を公表することは、住民に対する説明責任を果たす上で重要なことであります。そのような観点から、法の趣旨にのっとり具体的な内容の評価・点検を実施することとしました。

II 具体的な点検・評価の方法

点検・評価の対象には、教育委員会の活動（教育委員会の活動及び運営状況等）、教育委員会が管理・執行する事務（教育委員会の会議に諮られる事項）及び教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務（事務局が実施する事務事業）等がありますが、平成25年度の点検・評価の方法を、第4次美浜町総合計画の教育委員会関連部分の主要の施策及び平成25年度美浜町教育委員会重点努力目標を基本的な目的として、施策の成果等を以って代えるものとししました。

〈参考〉

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十七条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

（平成20年4月1日施行）

Ⅲ 第4次美浜町総合計画（教育委員会関連部分）

学校教育の主要な施策

1 特色ある学校づくり

- (1) 児童生徒の個性、創造力を伸ばし、「生きる力」を育成するため、創意工夫をこらした特色ある学校づくりを推進します。
- (2) 教育内容の厳選により生まれた時間的・精神的なゆとりの中で、基礎基本を確実に習得させるとともに、選択学習の幅を拡大し、児童生徒の興味、関心、能力等に応じた学習を行い、「わかる授業」、「工夫された授業」に努めます。
- (3) 総合的な学習の時間は、それぞれの地域の特色を活かした郷土学習を推進します。
- (4) 「心の教育（道徳）」を充実させるとともに、身近な自然を理解・親しみ、自然の保全・創造を図る自然教育・環境教育を進めます。
- (5) 少人数指導、習熟度別指導が可能となるよう教職員の定数改善やアシスタント教員の配置に努めます。

2 学校施設の計画的な整備

- (1) 校舎・グラウンド等の修繕工事を進めるとともに、快適な空間づくりとしてトイレの改修や施設のバリアフリー化を進め、また学校開放を考慮しながら計画的な修繕を実施します。
- (2) 河和中学校の柔剣道場、金工木工室を整備します。（※H24年12月27日竣工）

3 情報化への対応

職員室、図書館、コンピュータ教室、その他必要な教室をネットワークで結び、インターネットなど学習方法の多様化に対応できるよう情報機器の整備・充実を図ります。

4 国際化への対応

外国人講師による外国語教育をさらに充実させるとともに、異文化の理解のため、草の根国際交流の充実に努めます。

5 いじめ・不登校への対応

学校・家庭・地域社会の連携により、地域ぐるみで教育相談体制の充実に努めます。

6 特別支援教育の充実

ノーマライゼーション¹の理念に基づき、学校・保護者・関係機関と連携して、障害の程度に応じた適切な就学支援を推進します。

7 学校開放の推進

学校運営に支障のない範囲で、特別教室や余裕教室の有効利用を図りながら、地域の交流の場・生涯学習の場として開かれた学校を目指します。

8 安全対策

学校施設の定期的な安全点検や通学路の安全確保など関係機関と連携して事故防止に努めます。

¹ 1960年代に北欧諸国から始まった社会福祉をめぐる社会福祉の理念の一つ。障がい者と健常者とは、お互いが特別に区別することなく、社会生活を共にするのが正常なことであり、本来の望ましい姿であるとする考え方。

生涯学習の主要な施策

1 生涯学習関連施設の活用

心育館を生涯学習の拠点施設と位置付けるとともに、地区公民館の運営と利用について、住民参加の体制づくりに努めます。

2 生涯学習施策の確立

住民の誰もが気軽に学習の相談ができるような学習相談体制の整備に努めるとともに、受講者によるカリキュラム作成と講座運営を進めます。

3 学習情報提供システムの構築とボランティア制度の確立

学習団体・グループ、指導者等に関する各種の生涯学習情報を集約し、住民に提供するシステムを構築するとともに、生涯学習に必要なボランティアの募集・登録を進め、生涯学習活動のサポート体制の充実に努めます。

4 学校教育と図書館の連携

郷土資料、行政資料及び参考資料の充実に図り、学校教育での「調べ学習」や「総合的な学習」を支援するとともに、学校図書館との図書物流等のあり方を検討します。

5 文化施設・生涯学習施設としての図書館の活用

自主的な活動の場としての、教養、文化の向上に寄与する施設として、資料の充実、情報拠点としての整備、広域的ネットワークの推進を図ります。

6 図書館の資質向上

整理・奉仕作業やレファレンス²の充実に図るとともに、図書館ボランティアの参加を促し、サービスの向上に努めます。

家庭教育・青少年教育の主要な施策

1 青少年リーダーの養成

青少年の自主的な活動を側面から支えるため青少年の育成を支援する援助者の育成に努めます。

2 魅力的なプログラム作りと情報提供

青少年の社会参加活動を促すための魅力的なプログラム作り、体験活動の情報提供の充実に図ります。

3 青少年の仲間づくり・居場所づくり

青少年が交流でき、安心して過ごすことのできる居場所づくりを関連施設と連携して行います。

4 子育てグループづくりへの支援

子どもを遊ばせながら、学習や情報交換、行事などを実施する「子育てグループ」を支援します。

5 青少年を守る会（育てる会）の活性化

完全学校週5日制の実施に伴い「子どもを地域に帰す」ために、大人も含め町全体で地域の活性化に向けた取り組みを行います。

6 地域の教育力の導入

地域住民による講師リスト作成（人材バンク）と体験メニューの整備を行います。

² 図書館利用者が学習・研究・調査を目的として必要な情報・資料などを求めた際に、図書館職員が情報そのもの或いは、そのために必要とされる資料を検索・提供・回答することによってこれを助ける業務。

7 非行防止活動

関係機関と連携して、啓発活動・パトロール活動を展開します。

スポーツ・レクリエーション振興の主要な施策

1 運動施設整備

総合公園体育施設を核として、充実した運動施設および施設周辺の環境を整備します。

2 スポーツ・レクリエーションの普及

多様なスポーツやレクリエーションの普及、誰でも楽しむことのできるニュースポーツの紹介など、身近に運動が楽しめる環境づくりを進め、スポーツ人口の増加に努めます。

3 スポーツリーダーバンクの活用

スポーツリーダーバンクへの登録を呼び掛け、制度の充実と活用に努めます。

4 地域総合型スポーツクラブの設立（※H24年9月23日「みはまスポーツクラブ」設立）

学校の部活動と社会体育の相互の指導者不足を解消し、学校と地域の交流を図り、子どもからお年寄りの方までスポーツに親しめる環境づくりに努めます。

5 スポーツ大会等の開催

近隣市町等とのスポーツの交流や大会の開催を進めます。

文化・芸術振興、文化財保護の主要な施策

1 文化の振興

文化祭、文化講演会、新春コンサート等の開催を通じて、住民の文化に対する意識の向上を図ります。また、美浜音頭、みはま小唄を始めとして、地域に伝わる伝統芸能等の伝承に努めます。

2 文化財・伝統文化の発掘と保存

古い建造物や祭礼など、生きた教材、先祖から受け継いだ財産を積極的に掘り起こし、保存に努めます。

3 河和城跡の整備

現存している横掘りや土塁などの遺構を保存し、見学できるようにします。また、発掘調査などを継続的に行い、史跡としての内容の充実に努めます。

4 考古学資料・古文書・民俗資料等の収集・公開

資料を収集し、薫蒸、裏打ちなどの保存処置を施し、一般公開や研究資料に利用できるようにします。

5 町誌編さん事業

発行後新たな資料もあるため、専門家を導入し、長期の調査期間を設けて資料収集を進めます。

IV 平成25年度美浜町教育委員会 重点努力目標

- 1 「みはまの教育・合い言葉」の普及に努めるとともに、方針実現に向けた具体的な取り組みを行い、評価する。
- 2 定例の学校訪問・学校視察はもとより、随時の学校訪問を積極的に行い、町内各小中学校の現状把握に努めるとともに、学校運営や学校管理について指導・支援を積極的に行う。
- 3 青少年教育、家庭教育、成人教育などを始めとする、地域におけるふれあい活動や生涯学習を積極的に推進するよう努める。
- 4 生涯スポーツ活動の拠点、スポーツに親しむことができる環境づくりを積極的に推進する。
- 5 児童生徒の健全な育成を目指した、食に関する指導の推進に努める。
- 6 利用者のニーズに対応した情報提供に努めるとともに、図書館サービスの一層の充実を図る。
- 7 日本福祉大学と町教委、各小中学校が連携し、子どもたちの教育活動及び住民の生涯学習活動をより充実するよう努める。

〈1について〉

- 定例の教育委員会において「みはまの教育・合い言葉」の唱和をする。
- 各学校へは、学校経営方針と美浜町教育方針（合い言葉）の関連付けを図るよう依頼する。いじめ問題や児童生徒の自殺問題、そして11月に行われる「美浜町津波・地震防災訓練」に向けての防災教育への取り組みに関わって、各学校や家庭と連携して「はぐくもう！命あるもの 尊ぶ心」を教えて、命あるものをいつくしみ、他人も自分も大切に作る子のさらなる育成に取り組む。
- パソコンや携帯電話の利用時における情報モラルや「ネット上でのいじめやトラブル」を未然に防ぐための具体策を情報教育アドバイザーと連携・検討して取り組む。

〈2について〉

- 委員及び事務局職員は、時機をとらえ積極的に学校を訪問し、支援にあたる。
- 小学校においては学習指導要領の全面実施3年目、中学校においては学習指導要領の全面実施2年目の学習指導において、適切に行われるよう指導・支援する。
- 問題行動の未然防止、早期発見、早期対応に取り組み、各学校や家庭、スクールカウンセラーなど、専門機関と連携し、いじめ問題や不登校児童生徒が減少するよう努める。
- 各学校や家庭と連携して、児童生徒（特に小学生）の家庭における学習習慣の確立を図れるよう、学校として具体策を検討して取り組む。
- 外国語活動（英語科）において、外国語活動指導員と連携して、児童生徒の国際理解教育を推進するとともに、教員の英語運用能力の向上を図る。
- 情報教育において、情報教育アドバイザーと連携して ICT 環境の整備に努め、児童生徒の情報活用能力の育成を図る。

- 防災教育において、町防災安全課と連携して、防災教育の推進に努め、校内の防災対策の見直しを進めるとともに、「児童生徒や保護者の防災への意識の把握」や「自分の命は自分で守ることへの意識づけ」を行うなどして、児童生徒の防災意識の向上を図る。併せて保護者の防災意識（「自分の子どもの命は保護者が守る」）を高める。

〈3について〉

- 青少年教育においては、子ども・若者の健全な成長を育むため、県を始めとする関係機関、関係部署と協力して、子ども・若者育成の環境づくりに努める。
- 家庭教育においては、家庭教育講座の開催等を行うとともに、引き続き子育て支援者のサポート、子育てサークルの育成・支援や、地域、家庭、学校が相互に連携・協力して取り組む活動の推進に努める。
- 成人教育としては、高齢者が生きがいとして積極的に学び集う「みはま寿大学」の開催をサポートする。
- 生涯学習活動の拠点である公民館の施設改修、修繕を行い、活動環境の維持・向上に努める。

〈4について〉

- 年齢、性別を問わず誰もが生涯を通して、気軽にスポーツを楽しめる環境づくりに努める。
- 文化活動も取り入れた多種目多世代のコミュニケーションの場づくりを積極的に推進する。
- 仲間づくり、健康づくりをスポーツを通して楽しめるような環境づくりに努める。

〈5について〉

- 生活習慣を見直し、元気な学校生活を送るための、食育の推進指導を行う。具体的には、栄養教諭、栄養職員が全学校、全クラスを訪問し、特別活動で行う全体指導やアレルギーを持つ児童生徒への個別指導など、食に関する様々な指導を教育の一環として実施する。

〈6について〉

- 利用者が必要とする情報を提供できるように資料及び情報収集の研鑽を積むとともに、日本福祉大学、小中学校図書館との連携を深め、「美浜町こども読書活動推進計画」の推進に努める。
- 図書館活動の充実、利用しやすい図書館の実現のため、「笑顔と挨拶は心の架け橋」のスローガンを継承し、今まで以上に町民に愛される図書館を目指す。

〈7について〉

- 町教委、小中学校と大学が連携し、子ども発達学部の学生による学校インターンシップ（学校体験）が円滑かつ充実するよう努める。
- 町教委、小中学校と大学が連携し、シンガポール（イーミン小・ニーアン中）との国際交流事業が円滑かつ充実するよう努める。
- 大学のスポーツ教育センターとの連携により設立した総合型地域スポーツクラブ（みはまスポーツクラブ）により、ニュースポーツの普及・振興に努める。

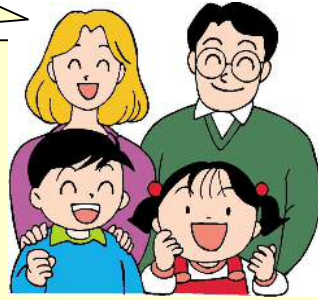
V みはまの教育・合い言葉

美浜町教育委員会は、教育方針として「みはまの教育・合い言葉」を定めました。
大人も子どもも、学校も家庭も、地域全体でこの「合い言葉」を実践しましょう！

みはまの教育・合い言葉

みんなで

はじめよう！



まず、当たり前のことから！

◆ 広げよう！ 明るいあいさつ 素直な心

「おはよう」「ありがとう」「ごめんなさい」が素直に言える子に

◆ 教えよう！ 約束・きまり がまんの心

礼儀正しく、お手伝い・勉強・運動なんでもがんばる子に

◆ はぐくもう！ 命あるもの 尊ぶ心

命あるものをいつくしみ、他人も自分も大切にする子に



◆ 伝えよう！ 「もったいない」の言葉と心

物を粗末に扱わず、物にも感謝できる子に

◆ 実行しよう！ 早寝・早起き・朝ごはん

健康で、前向きにたくましく生きぬく子に



VI 施策の成果

第1 教育委員会運営

1 教育委員会開催状況（議案について記載、報告事項等は省略）

- | | |
|-------------------|---|
| 第1回（平成25年 4月 8日） | ・小中学校の主任等の発令について |
| 第2回（平成25年 5月10日） | ・美浜町図書館協議会委員の委嘱について
・平成25年度美浜町教育委員会重点努力目標について |
| 第3回（平成25年 6月12日） | ・美浜町中学校部活動指導費交付金要綱の制定について |
| 第4回（平成25年 7月10日） | ・平成26年度使用小・中学校教科用図書の採択について
・知多地区における知的障害特別支援学校新設に関する要望について |
| 第5回（平成25年 8月 7日） | ・平成25年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する報告書（案）について |
| 第6回（平成25年 8月28日） | ・平成25年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する報告書について |
| 第7回（平成25年 9月27日） | 報告事項のみ |
| 第8回（平成25年10月 1日） | ・美浜町教育委員会委員長の選任について
・美浜町教育委員会委員長職務代理者の指定について |
| 第9回（平成25年10月 8日） | ・教員の非違行為について |
| 第10回（平成25年10月23日） | 報告事項のみ |
| 第11回（平成25年11月20日） | 報告事項のみ |
| 第12回（平成25年12月10日） | 報告事項のみ |
| 第13回（平成26年 1月16日） | ・平成25年度美浜町教育功労者の選考について |
| 第14回（平成26年 2月18日） | 報告事項のみ |
| 第15回（平成26年 3月 6日） | ・地方教育行政への国や首長の関与の強化に反対することを求める請願について
・平成26年度教職員定期人事異動について
・美浜町教育委員会教育長に対する事務委任規則の一部を改正する規則について
・美浜町教育委員会事務局の組織に関する規則の一部を改正する規則について |
| 第16回（平成26年 3月31日） | ・平成26年度美浜町教育委員会教育部人事について
・美浜町社会教育委員の委嘱について |

2 教育委員会委員の活動状況（上記教育委員会を除く）

教育委員会で委員を委嘱している社会教育委員会、文化財保護委員会、給食センター運営委員会、図書館協議会の各委員会及び各種会合に出席をして各委員会委員から意見を聴取した。

(月 日)	(内 容)	(場 所)	
平成25年 4月 1日	小中学校教諭発令通知書伝達式	美浜町役場	委員全員
4月 4日	知多地方教育事務協議会	知多総合庁舎	委員長
4月 5日	町内中学校入学式	2 中学校	委員全員
4月 8日	町内小学校入学式	6 小学校	委員全員
4月16日	心を育む学校給食週間	河和中学校	加藤・石田委員
4月17日	心を育む学校給食週間	野間中学校	伊藤・川上委員
4月18日	P T A総会	野間中学校	西地区委員
4月19日	P T A総会	6 小学校	関係委員
4月22日	P T A総会	河和中学校	東地区委員
4月25日	町P T A連絡協議会総会	北方「福助」	委員全員
4月26日	社会教育委員会	総合公園体育館	委員全員
4月27日	町文化協会評議員会	生涯学習センター	委員全員
5月 1日	河和中学区会	観光総合センター	東地区委員
5月 2日	野間中学区会		西地区委員
5月11日	中学校自然教室訪問	小野浦自然の家	委員全員
5月14日	体育協会役員会	総合公園体育館	委員長
5月18日	みはまスポーツクラブ総会	総合公園体育館	委員長
5月21日	美浜女性の会総会	生涯学習センター	委員長

5月21日	知多地方教育事務協議会	知多総合庁舎	委員長
5月22日	小学校陸上大会	布土小学校	委員全員
5月24日	知多地方小中学校PTA連絡協議会	総合公園体育館	委員全員
5月28日	学校訪問	上野間小学校	委員全員
5月31日	シンガポール国際交流ホストファミリー対面式	生涯学習センター	委員全員
6月 3日	学校交流	東地区小学校 野間中学校	東地区委員 西地区委員
6月 4日	シンガポール国際交流ホストファミリーお別れ会	生涯学習センター	委員全員
6月 5日	文化財保護委員会	生涯学習センター	委員全員
6月12日	シンガポール派遣選考委員会	美浜町役場	委員長 職務代理者
	教科用図書展示見学会	半田福祉文化会館	委員全員
	町長と教育委員との懇談会	役場	委員全員
6月14日	家庭教育推進連絡会議	生涯学習センター	委員全員
6月28日	学校訪問	河和小学校	委員全員
7月 4日	給食センター運営委員会	給食センター	委員全員
	町図書館協議会	生涯学習センター	委員全員
7月 5日	学校訪問	河和中学校	委員全員
7月 6日	社明大会・家庭教育講演会	総合公園体育館	委員全員
7月10日	県市町村教育委員会連合会総会	小牧市	委員全員
7月27日	文化協会20周年記念事業「火祭り」	吉田池周辺	委員長
8月 7日	小学校体育大会	総合公園体育館	委員全員
8月20日	シンガポール国際交流派遣団 結団式	美浜町役場	委員全員
8月22日	シンガポール派遣出発式	美浜町役場	委員全員
8月23日	タウンマラソン役員会	総合公園体育館	委員長
8月26日	チャリティーゴルフ大会閉会式	新南愛知C.C	職務代理者
8月28日	学校四役研修会	北方「福助」	委員全員
9月 3日	愛知県市町村対抗駅伝選手選考会	総合公園体育館	委員長
9月 7日	美浜音頭・小唄のつどい	食と健康の館	委員長
9月12日	シンガポール国際交流派遣団 報告会・解団式	美浜町役場	委員全員
9月13日	学校訪問	野間中学校	委員全員
9月18日	知多地方教育懇談会	アイプラザ半田	委員長
9月20日	学校訪問	河和南部小学校	委員全員
9月27日	学校訪問	野間小学校	委員全員
9月28日	小学校運動会	河和小・奥田小	関係委員
	小学校区運動会	布土小	関係委員
9月29日	小学校区運動会	上野間小学校	関係委員
10月 1日	町表彰審査会	役場	委員長
10月 4日	野中祭（文化の部）	野間中学校	関係委員
10月 5日	小学校区運動会	河和南部小学校	関係委員
	野中祭（体育の部）	野間中学校	関係委員
10月 6日	小学校区運動会	野間小学校	関係委員
10月 8日	学校巡視	東地区小中学校	委員全員
10月15日	学校巡視	西地区小中学校	委員全員
10月16日	知多地方教育事務協議会	半田市雁宿ホール	委員長
10月17日			
～18日	市町村教育委員会協議会愛知県大会	ルブラ王山	委員全員
10月19日	すずかけ祭（文化の部）	河和中学校	関係委員
10月22日	学校訪問	奥田小学校	委員全員
10月23日	町校長会予算要望説明会	美浜町役場	委員全員
	町教育懇談会	美浜町役場	委員全員
10月26日	町文化祭・芸能祭	総合公園体育館	委員全員
～27日			
10月28日	すずかけ祭（体育の部）	河和中学校	関係委員
10月31日	学校訪問	布土小学校	委員全員
11月 2日	町表彰式	美浜町役場	委員長

	11月 7日	校長人事面談	美浜町役場	委員長
	11月 9日	小学校学習発表会（上野間小除く）		関係委員
	11月14日	小学校学習発表会	上野間小学校	関係委員
	11月17日	愛知県・美浜町津波地震防災訓練	各小中学校	委員全員
	11月20日	町教職員会福祉部体育大会	河和中学校	委員全員
	11月30日	市町村対抗駅伝大会結団式	総合公園体育館	委員長
	12月 7日	愛知県市町村対抗駅伝大会	愛・地球博記念公園	委員全員
	12月10日	成人式実行委員会	総合公園体育館	委員全員
	12月16日	地教委一次面談	南知多町	委員長
平成26年	1月12日	町成人式	総合公園体育館	委員全員
	1月16日	地教委二次面談	大府市	委員長
	1月17日	知多地方教育事務協議会	知多総合庁舎	委員長
	1月19日	美浜タウンマラソン	総合公園周辺	委員全員
	1月24日			
	～30日	学校給食週間	全小学校	関係委員
	2月 7日	現職教育研究発表会	総合公園体育館	委員全員
	2月18日	体育功労者表彰審査会	総合公園体育館	委員長
	2月28日	美浜タウンマラソン役員会	総合公園体育館	委員長
	3月 1日	テニスコートオープンセレモニー	総合公園テニスコート	委員全員
	3月 2日	公民館まつり	野間公民館	関係委員
	3月 6日	中学校卒業式	各中学校	委員全員
	3月12日	知多地方教育事務協議会	知多総合庁舎	委員長
	3月15日	シンガポール派遣10周年同窓会	美浜町役場	委員全員
	3月20日	小学校卒業式	各小学校	委員全員
		体育功労者表彰	総合公園体育館	委員長
	3月31日	教職員退職辞令交付式	美浜町役場	委員全員

3 教育委員会委員の研修会参加及び研修会開催状況

- (1) 愛知県市町村教育委員会連合会研修会
 期 日 平成25年7月10日（水）
 場 所 小牧市
 研修内容 第47回定期総会・研修会として開催
 定期総会にて、平成24年度事業報告・決算、平成25年度事業計画・予算、及び平成25年度役員案について審議した。
- (2) 学校4役研修会
 期 日 平成25年8月28日（水）
 場 所 北方「福助」
 研修内容 講師 美浜町教育委員会委員長 伊藤ふき子 氏
 自分が携わっている「ひよこ教室」「海の子文庫」の活動を通じて、子ども達から、「もう1回やってみて」と言われたり、感動したことが書かれている感想文を読んで、これまで自分がやってこれたのは、素直な子供の力に支えられていたからだということを改めて知ることができた。子供が持つ魔法の力「素直さ」の大切さについて研修した。
- (3) 知多地方教育委員研修会
 期 日 平成25年10月16日（金）
 場 所 半田市福祉文化会館
 研修内容 講 師 新美南吉記念館学芸員 遠山光嗣 氏
 「生誕100年を迎えた児童文学者の新美南吉について」
- (4) 市町村教育委員会研究協議会
 期 日 平成25年10月17日（木）
 基調講演 講師 東京大学大学院教育学科准教授 村上祐介
 「教育委員会制度改革をめぐる最新の動向とゆくえ」
 パネルディスカッション
 コーディネーター 村上祐介
 パネリスト 元長野県茅野市長、豊橋市教育長
 東京都三鷹市立第1中学校長、文部科学省

平成25年10月18日（金）

事例発表、研究協議（分科会）

第1分科会 「持続発展教育（ESD）の取り組みについて」

第2分科会 「特別支援教育の取組について」

第3分科会 「幼保小中一貫教育の取組について」

目 的 各市町村において展開されている地域の実情、特性に応じた特色ある優れた施策についての情報・意見の交流や教育委員会の在り方についての研究協議を行う。

場 所 公立学校共済組合名古屋宿泊所 ルブラ玉山

(5) 小中一貫校視察

期 日 平成26年2月10日（月）

場 所 飛島学園

研修内容 小中一貫教育について施設・設備の見学とカリキュラムについて研修した。

4 「みはまの教育・合い言葉」の普及活動

重点努力目標に掲げているとおり、各校PTA総会に委員が出席して合い言葉の普及に努めるとともに、教育委員会諸行事のあいさつ、生涯学習課での諸会議のなかでも普及取り組みについて説明を行った。また、学校の経営方針に合い言葉の趣旨に沿った目標を掲げ実践した。

5 日本福祉大学との連携

(1) 小中学校における連携

- ・ 町内の全小中学校が日本福祉大学子ども発達学部の学生53名を学校体験事業として年間を通して受け入れた。
- ・ 学生にとっては学校現場を体験できたこと、小中学校にとってはアシスタントとして活用できたことなど双方にとって有効な事業であった。
- ・ 日本福祉大学スポーツ教育センターと連携し、特別支援学級交流会でスポーツ・レクリエーション活動を実施した。

(2) みはまスポーツクラブ（総合型地域スポーツクラブ）における連携

- ・ 本町と日本福祉大学スポーツ教育センターが連携して運営する「みはまスポーツクラブ」が、各種サークル及び教室を計画的に開催し、その普及推進に努めた。
 - 《サークル》 スナッグゴルフ、ミニテニス、ボッチャde健康
 - 《教 室》 陸上、アジリティ、ヨガ、ノルディックウォーキング、スナッグゴルフ、小学生レクリエーション、カローリング、小学生バレーボール、ソフトダンスEX、ミニテニス、ビーチウォーキング&ストレッチ、よさこい

(3) 図書館における連携

- ・ 平成22年3月24日に協定を締結し、図書の相互貸借を行っている。平成25年度においては借受け実績はなかったが、今後も積極的な活用を推進していきます。
- ・ 美浜町図書館の図書館活動での子ども読書週間行事の一環として、日本福祉大学児童文化部あかとんぼにより、毎年行われている人形劇を25年度においても実施した。

6 学校訪問実施状況

各小中学校の教育目標、経営方針、重点努力目標及び学習指導への取り組みについて学校より報告を受け、公開授業、特設授業を参観して意見を述べた。

- | | | |
|----------------|----------------|-----------------|
| ・ 布土小学校 10月31日 | ・ 河和小学校 6月28日 | ・ 河和南部小学校 9月20日 |
| ・ 野間小学校 9月27日 | ・ 奥田小学校 10月22日 | ・ 上野間小学校 5月28日 |
| ・ 河和中学校 7月 5日 | ・ 野間中学校 9月13日 | |

7 学校巡視実施状況

校舎、遊具及び備品の点検確認のため、10月7日に東地区の小中学校、10月15日に西地区の小中学校の巡視を実施して、学校からの要望を聴取し意見及び指導を行った。

第2 学校教育事業

1 児童生徒の指導

(1) 外国人英語講師派遣事業

人材派遣会社の外国人英語講師を中学校に派遣し、英語担当教師とともに生徒の語学力向上に努めた。

授業日数 河和中学校 40日 野間中学校 30日

(2) 外国語活動指導員

平成23年度より小学校5・6年生で外国語活動が必修化されたことに伴い、言語や文化について体験的に理解を深め、コミュニケーション能力の向上を図るため指導員を派遣した。

授業時間 年間35単位時間

(3) 学校生活適応指導

不登校の児童生徒に対する指導を行うため、学校以外の場所に教室を設置し、在籍校と連携を取りながら、個別のカウンセリング、集団での活動、教科指導等を行い、児童生徒の自主性・主体性の育成や人間関係の改善を図り、在籍校への復帰を目指した。

また、いじめ・不登校対策協議会を設置し、ケースの検討会議、メンタルフレンドの活用、民生委員との連携及び校内指導体制の整備を図った。

開設日時 毎週月曜日～金曜日 午前9時～午後3時

相談員 教育相談員1名 指導員1名

(4) スクールアシスタント配置

小学校特別支援学級及び通常学級で支援を必要とする児童が学校生活を円滑に送れるようアシスタントを配置した。

・ 特別支援学級スクールアシスタント配置事業

重度の障害を持つ児童が学ぶ小学校の特別支援学級の円滑な運営を図る。

配置校 布土小2名、河和小2名、野間小2名、奥田小1名、上野間小1名

・ 通常学級スクールアシスタント配置事業

小学校の通常学級で支援を必要とする児童が学校生活を円滑に送れるようにするため、町内6小学校に各1名を配置した。

(5) 情報教育

ICT環境を整備し、情報教育アドバイザーと連携して、児童生徒の情報活用能力の育成を図った。

・ 情報教育アドバイザー派遣事業

小中学校にて情報教育の補助及び情報教育機器の維持管理を行った。

業務時間 384時間（小学校288時間、中学校80時間、学校教育課16時間）

・ 小中学校のコンピュータ設置状況

(単位：台)

学校名	パソコンルーム		職員室等			図書館	電子黒板	計
	児童用	教師用	デスクトップ	ノートPC	LAN配線	調べ学習用	ノートPC	
布土小	30	1	2	12	○	1	2	48
河和小	40	1	2	27	○	2	3	75
河和南部小	30	1	2	12	○	1	2	48
野間小	31	1	2	13	○	1	2	50
奥田小	30	1	2	12	○	1	2	48
上野間小	31	1	2	14	○	1	2	51
河和中	40	1	2	28	○	1	3	75
野間中	40	1	2	22	○	1	3	69
計	272	8	16	140	○	9	19	464

(6) 国際交流事業

① 美浜町フレンドシップ草の根国際交流（受入）

シンガポールより、イーミン小学校児童8名、ニーアン中学校生徒10名及び引率者5名が来町し、学校交流や田植え体験、塩作り体験などを通じて、日本の文化を体験しました。受入れにあたっては、ホストファミリー23家族により、温かいおもてなしをしていただきました。

期 日 平成25年5月31日（金）～6月6日（木）
 受入校 イーミン小学校児童：布土小学校、河和小学校、河和南部小学校
 ニーアン中学校生徒：野間中学校

- ② 美浜町フレンドシップ草の根国際交流ホームステイの旅inシンガポール2013（派遣）
 町内の小学校5・6年生の児童17名と、中学生10名がフレンドシップ交流相手国シンガポールでホームステイや学校交流などを体験し、国際理解と相互交流の絆を深めた。

期 日 平成25年8月22日（木）～8月27日（火）
 訪問先 小学生：イーミン小学校、中学生：ニーアン中学校
 シンガポール政府観光局及び日本人会を表敬訪問

- ③ シンガポール派遣10周年記念同窓会

本町とシンガポール共和国は、愛知万博開幕1年前の2004年（平成16年）から、草の根国際交流を開始し、本年で10周年を迎えることとなった。これを記念して、これまでの参加者に同窓会の開催を呼びかけたところ117名の参加を得て、盛大に同窓会を開催しました。会場では、10周年の歩みをスライド上映し、各年の代表者から、当時の交流の状況や、交流参加が、その後の自分にどのような変化をもたらしたか、現在はどうしているかなどについて発表したほか、シンガポールからのメッセージビデオの紹介がありました。

日 時 平成26年3月15日（土）
 会 場 美浜町保健センター 集団指導室

2 学校運営

(1) 児童生徒の状況

（平成25年5月1日現在）

区分		1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計	教員
小学校	児童数	186	184	202	215	216	221	28	1,252	85
	学級数	8	8	8	7	8	8	8	55	
中学校	生徒数	227	235	265				11	738	50
	学級数	7	7	8				4	26	

(2) 主な営繕工事（100万円以上）

河和南部小学校 プールろ過機ろ材取替工事
 奥田小学校 職員室エアコン取替工事
 プールフェンス取替工事
 河和中学校 会議室エアコン設置工事
 野間中学校 会議室エアコン設置工事
 職員室エアコン取替工事

(3) トイレ改修工事

国の交付金を受けて、小中学校6校の児童生徒及び職員用トイレの改修工事を実施した。

実施場所 河和小学校、河和南部小学校、野間小学校、奥田小学校
 河和中学校、野間中学校

工事概要 校舎及び体育館の男子用小便器の自動洗浄方式への切替
 全ての大便器を洋式に変更、床の張り替え、照明の自動点灯化
 手洗い場の自動出水化

(4) 自然の家合宿

愛知県美浜少年自然の家において、両中学校合同で自然の家合宿活動を実施した。豊かな自然環境の中での規律ある生活を通じ、集団の一員であるという自覚を高めるとともに、人間的ふれあいを深め、集団生活の中から助け合いの精神と互いに尊重し合う態度を養った。

実施場所 美浜町小野浦 愛知県美浜少年自然の家
 実施期間 平成25年5月11日（土）～5月12日（日）
 対象学年 1年生

(5) 野外教育活動

① 小学校

親の保護から離れ、大自然の中で野営・飯ごう炊飯・キャンプファイヤー等、新しい経

験の中で創意工夫と自主的な態度、責任感と協力の精神を育成することを目的に実施した。

実施場所 愛知県豊田市 旭高原元気村

実施期間

- ・上野間小 平成25年6月3日(月)～6月 4日(火)
- ・野間小・奥田小 平成25年6月4日(火)～6月 5日(水)
- ・布土小・河南小 平成25年6月5日(水)～6月 6日(木)
- ・布土小 平成25年6月6日(木)～6月 7日(金)

対象学年 5年生

② 中学校

大自然に学ぶ生活の中で自然に親しみ、自然を愛する心情を育てるとともに、互いに協力し、助け合い、友情の輪を広げる。また、迅速に行動し、約束や決まりを守り、規律ある生活を体験することができた。

実施場所 岐阜県郡上市 郡上八幡自然園

実施期間

- ・河和中学校 平成25年6月19日(水)～6月21日(金)
- ・野間中学校 平成25年6月21日(金)～6月23日(日)

対象学年 2年生

(6) 研究指定校による学校づくり

① 小学校

《夢をはぐくむ あいち・モノづくり体験事業》

愛知県が進めるキャリア教育の一環として、小学生5・6年生の児童がモノづくりを直接体験するとともに、モノづくりの達人から「仕事に対する心構え、努力していること、小学校で学んでほしいこと」などの話を聞き、働くことや学ぶことへの基盤をつくることを目的に事業を実施した。

実施校 河和小学校

体験内容 陶芸

対象学年 5年生

② 中学校

《あいち・出会いと体験の道場推進事業》

愛知県が進めるキャリア教育の一環として、中学校の生徒が職場体験と事前・事後指導を通して、子どもたちが将来の生き方について真剣に考え、働くことや学ぶことへの意欲が向上することを目的に事業を実施した。

実施校 河和中学校・野間中学校

対象学年 2年生

第3 社会教育事業

1 社会教育委員会(委員9人)

社会教育委員会の開催

社会教育に係る諸事業についての報告、各委員の意見交換を行った。

開催日	内 容	会 場
平成 25年4月26日	平成25年度社会教育事業計画及び予算について 社会教育委員活動について	生涯学習センター
25年9月12日	平成25年度事業中間報告について 平成26年度事業計画についての意見交換会	生涯学習センター
26年2月26日	平成25年度事業報告について 平成26年度事業計画(案)について	生涯学習センター

2 生涯学習センターの運営

(1) 生涯学習センター利用状況

研修室1～3	研修室4 (パソコンルーム)	学習室 (多目的ルーム)	水野屋敷 (見学者含む)	合計
8,284人	3,479人	537人	960人	13,260人

(2) 生涯学習講座

① みはま寿大学

高齢者がより健康で心豊かに生きがいのある楽しい生活を送るために、学習の機会を提供し仲間の交流を深めることを目的として開催した。東学級(213人)、西学級(160人)、野間学級(154人)の3学級(527人)が、それぞれ7回の講座を実施した。

参加者数 延べ1,148人

修了者数 100人(5回以上の出席者には修了証を授与)

② 子ども教室

(参加者は延べ人数)

講座名	開催日	回数	参加者
マイはし作り教室	7/20	1	26人
トールペイント講座	8/1.2	2	27人
科学実験教室	8/6	1	28人
計算力アップ!そろばん教室(対象 小学3年生)	12/21～26	5	138人
計算力アップ!そろばん教室(対象 小学2年生)	3/21～27	5	157人

③ 一般教室・講座

(参加者は延べ人数)

講座名	開催日	回数	参加者
はじめての一品 茶道教室	5/11～6/29	5	42人
とっても愉快的な川柳講座	5/12～9/15	5	39人
大人のパソコン教室「初心者基礎コース」	5/29～6/26	5	85人
着付け教室「浴衣を楽しく着てみませんか」	7/7	1	8人
河和にあった航空隊講座	8/10	1	7人
大人のパソコン教室「初心者エクセルコース」	8/28～9/25	5	84人
ふるさと歴史教室「美浜の歴史再発見」	9/21～11/9	5	79人
古文書教室「上野間区が保管している古文書」	9/28～11/23	8	50人
お正月を彩るしめ縄づくり講座	12/13	1	11人
初心者韓国語教室	2/7～3/14	5	75人
自主企画「ベビーマッサージ講座」	6/24～3/24	3	27人
自主企画「うたごえさろん」	2/25.3/25	2	69人

④ 共催事業

(参加者は延べ人数)

講座名	主催者	開催日	回数	参加者
マルトモ探検隊	知多半島ケーブルネットワーク(株)	11/16～12/8	3	15人

3 青少年教育

(1) 成人式

新成人による実行委員会の企画運営にて式典を挙行了した。

開催日 平成26年1月12日(日)13:30～

会場 総合公園体育館

該当者 319人 (男160人、女159人)
参加者 241人 (男123人、女118人)

(2) 青少年健全育成

① 青少年問題協議会 (委員15人)

青少年健全育成に関する調査審議・各機関の連絡調整と事業に関する審議を行った。
平成26年度より協議会を廃止し、「家庭教育推進連絡会議」へ統合することを決定した。

開催日 平成25年11月12日(火)
会 場 生涯学習センター

② 青少年健全育成推進大会

青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動の一環として家庭教育講演会、社会を明るくする運動推進大会との共催で開催した。

開催日 平成25年7月6日(土)
会 場 総合公園体育館サブアリーナ
内 容 ・少年の主張 河和中学校3年生「明日のある幸せ」
野間中学校3年生「あいさつの力」
・講演会 演題：「こころ元気な大人が子どもの未来を築く！」
講師：こころ元気研究所 鎌田 敏 氏
参加者：350人

③ 啓発活動

青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動及び子ども・若者育成支援県民運動の一環として、啓発活動を実施した。

開催日	場 所
平成25年 7月 6日(土)	青少年健全育成推進大会会場 (総合公園体育館)
平成25年10月27日(日)	美浜町文化祭会場 (総合公園体育館)

④ 「家庭の日」普及事業

≪「家庭の日」県民運動啓発ポスターの募集≫

対 象 小中学生
応募数 総数292点 (小学生184点、中学生108点)

≪「家庭の日」ポスター作品展≫

期 間 平成25年12月1日(日)～12月26日(木) 展示数 60点
平成26年 2月1日(土)～ 2月28日(金) 展示数 6点 (美浜町特選作品)
会 場 生涯学習センター

4 家庭教育

(1) 子育て支援交流事業

① 親子ふれあいひろば

乳幼児を持つ親が子育てネットワーク等への支援により、親子の遊びや交流活動をし、親同士の仲間づくりを図った。

開催日 平成25年6月5日(水)～10月23日(水) 全13回
会 場 奥田公民館ほか
対 象 乳幼児 (1歳半から2歳半の子) とその親
参加者 20組 (延べ168組)
内 容 防災について考える、七夕会、水遊び、わらべ歌、思い出作品作り他

② 家庭教育講座

子どもの成長にあわせた子育ての学習講座を開催した。

対象	開催月	回数	参加者	会場
乳児期	6月～9月	3	65人	子育て支援センター、総合公園体育館
幼児期	6月	7	294人	各保育所で1回開催
思春期	1月～2月	2	362人	各中学校で1回開催

(2) 地域におけるふれあい活動事業

- ① 美浜町家庭教育推進連絡会議（平成11年度発足）
美浜町の子どもたちの健全育成をめざして、町全域を対象に家庭教育の推進を図った。
主 題 「育てよう 思いやり 咲かせよう 信頼の輪」
開催日 年 2回 平成25年6月14日（金）、平成26年2月26日（水）
取組内容 全町あげての「あいさつ運動」推進、「みはまの教育・合い言葉」啓発
家推協だより発行、青少年健全育成推進大会の共催
- ② 知多地区子育て支援地域交流会（愛知県教育委員会、知多教育事務所、知多地区家庭教育推進運営協議会主催）
開催日 平成25年11月30日（土）
会 場 知多市勤労文化会館
参加者 美浜町より16人 全体415人（男145人、女270人）
- ③ 各青少年を守る（育てる）会の取り組み
小学校区ごとに、区・小学校・PTA・老人会等各種団体の役員が中心となって運営し、地区内すべての青少年を健全に育成するため、学区ハイキング、学区運動会、あいさつ運動等、様々な活動を展開した。

5 文化振興事業

(1) 美浜町文化祭

美浜町文化協会文化部会（文芸部門、美術部門、手工芸部門、茶華道部門）が中心となり、企画運営をした。作品の展示を通して、町内の文化活動にいそしむ人々の交流を促進すると同時に、切磋琢磨の場として開催した。

開催日 平成25年10月26日（土）、27日（日）
会 場 総合公園体育館メインアリーナ
内 容 絵画、書、写真、手芸、工芸、生け花、盆栽、小中学生作品（習字・図画）等の展示
入場者 約2,300人（両日計）
出品数 65団体1,140点、小学校（6校）、中学校（2校）
その他 呈茶（茶華道部）＜利用者＞延べ約547人

(2) 美浜町芸能祭

美浜町文化協会芸能部会（芸能部門、音楽部門、ダンス部門）が中心となり企画運営をした。日頃楽しみ、研鑽している芸能を披露することにより、同好の人々やその他の人々との交流を深めたり、芸を一層高めたりする機会として開催した。

開催日 平成25年10月27日（日）
会 場 総合公園体育館サブアリーナ
内 容 民踊、日本舞踊、コーラス、民謡、詩吟、大正琴、ダンス、箏曲等
観 客 約800人
出演者 33団体362人
演目数 33演目

(3) まちの音楽会

町内を始め町周辺地域、日頃から音楽活動を行っている音楽愛好者のグループや個人が、自ら音楽会を企画・開催することにより、他のグループ等との交流や日頃の成果を発表しあう機会を提供するために開催した。

また、参加グループ等の代表者と公募によるスタッフで構成する実行委員会による開催とし、人材の発掘と一層の音楽振興を図り、豊かな心の発展と地域リーダーの育成を図った。

開催日 平成25年12月15日（日）
会 場 総合公園体育館サブアリーナ
内 容 フォーク、ポップス、合唱等
出演者 21団体 259人
来場者 270人

(4) 美浜音頭・小唄のつどい

美浜音頭小唄保存会の主催により、ふるさとの民踊である美浜音頭、みはま小唄の良さを知ってもらおうとともに、町民同士の心をつなぎ、連帯意識を高めるために開催した。

開催日 平成25年9月7日（土）
会 場 食と健康の館駐車場
来場者 240人

(5) 春の文協まつり

美浜町文化協会会員による作品展示と芸の発表会を開催した。

① 文化展・生け花展

開催日 平成26年3月8日(土)・9日(日)
会場 総合公園体育館、ロビー
内容 書・絵画・手工芸・写真・生け花等の展示
出品団体 文化展：14団体、生け花展11団体

② 芸能大会

開催日 平成26年3月9日(日)
会場 総合公園体育館サブアリーナ
内容 民踊・詩吟・大正琴・民謡・日本舞踊・コーラス等
入場者 400人
出演者 21団体22演目

③ 呈茶

開催日 平成26年3月9日(日)
会場 総合公園体育館2階研修室
来場者 313人

(6) 美浜文化協会20周年記念事業

美浜町文化協会創立20周年記念事業として火祭りの復活と式典を挙行了。なお、10月26日に予定していた音楽祭は、台風のため開催を中止した。

① 火祭り

開催日 平成25年7月27日(土)
会場 吉田池周辺

② 記念式典

開催日 平成26年3月9日(日)
会場 総合公園体育館サブアリーナ

第4 公民館事業

1 公民館管理

布土公民館・・・指定管理者布土区に管理委託
河和南部公民館・・・指定管理者河和南部区長会に管理委託
野間公民館・・・指定管理者野間区長会に管理委託
奥田公民館・・・指定管理者奥田北・中区に管理委託
上野間公民館・・・指定管理者上野間区に管理委託

2 利用状況

公民館名	利用回数	利用人数	公民館利用団体	
			団体数	延人数
布土公民館	876回	13,801人	13団体	250人
河和南部公民館	127回	2,838人	2団体	27人
野間公民館	675回	10,044人	17団体	296人
奥田公民館	817回	13,682人	12団体	166人
上野間公民館	511回	7,617人	8団体	124人
合計	3,006回	47,982人	52団体	863人

《参考》河和港観光総合センター利用登録団体数 64団体 (商工観光課調べ)

3 公民館活動

地区の公民館を拠点とした地域住民等による生涯学習活動の推進を図った。

(1) 野間公民館

講座名	期日	回数	対象	参加者
-----	----	----	----	-----

公民館清掃	7/7	1	一般	75人
リフォーム教室「一閑張りかご作り」	6/21. 6/29. 7/5	3	一般	24人
ペットボトルロケットを飛ばそう	8/3. 8/10	2	親子	42人
歴史教室「知多四国めぐりと野間」	8/24	1	一般	40人
親子で楽しいおやつづくり	10/20	1	親子	28人
夏野菜の育て方	3/15. 4/26	2	一般	30人
公民館まつり	3/2	1	一般	400人

(2) 布土公民館

講座名	期日	回数	対象	参加者
いも栽培（苗植え・収穫）	5/16. 10/10	2	小学1・2年・つつじ学級	122人
稲栽培（田植え・稲刈・脱穀）	6/18. 11/1. 11/13	3	小学5年と保護者	105人
盆踊り教室	7/27	1	子ども・一般	32人
万華鏡を作ろう	8/6	1	小学生と保護者	23人
親子お菓子づくり教室	12/23	1	小学生と保護者	33人
春休み工作教室「ランプシェード作り」	3/25	1	子ども・一般	18人

第5 文化財保護事業

1 文化財保護委員会

文化財の保存と活用に関し、文化財保護委員会を開催した。

開催日 平成25年6月5日（水）、平成26年2月6日（木）

会場 美浜町生涯学習センター

2 文化財保護事業等

(1) 民具・文書の資料整理及び展示など

(2) 埋蔵文化財包蔵地に係る事務

・有無照会 2件 ・工事立会 1件 ・試掘調査 1件

(3) 文化財防火訓練

開催日 平成26年1月24日（金）

会場 大御堂寺

内容 野間保育所園児による防火啓発、通報訓練、消火器・消火栓訓練

参加者 117人

(4) 北方民族資料室、布土郷土資料室及び水野屋敷記念館の維持管理

北方民族資料室見学者 小学校4校 158人

水野屋敷記念館利用者 48件 960人

第6 社会体育事業

1 スポーツ推進委員会

年6回の定例会、行事に応じた臨時委員会等を設け、スポーツ教室・大会の企画運営を行うとともに、住民スポーツ振興のための指導助言等を行った。

2 スポーツ大会の開催

スポーツ及びレクリエーションの大会を通じ、健康と体力の保持・増進を図ることを目的に開催した。

(1) 第25回美浜町民ふれ愛チャリティーゴルフ大会

期日 平成25年8月26日（月）

会 場 新南愛知カントリークラブ
参加者 81人

- (2) 第15回美浜町ふれ愛ペタンク大会
期 日 平成25年9月16日 (月)
会 場 総合公園グラウンド
※ 雨天のため中止
- (3) 第8回愛知県市町村対抗駅伝競走大会
期 日 平成25年12月7日 (土)
会 場 愛・地球博記念公園
参加者 監督、コーチ、選手20人
- (4) 美浜スポーツ・レクリエーション祭2013
期 日 平成25年12月22日 (日)
会 場 総合公園体育館アリーナ
内 容 ミニテニス・カローリング・スナッグゴルフ・ディスクドッジ
参加者 100人
- (5) 第28回美浜タウンマラソン
期 日 平成26年1月19日 (日)
会 場 総合公園体育館周辺
参加者 1,000人
- (6) 美浜町ソフトバレーボール大会
期 日 平成26年3月9日 (日)
会 場 総合公園体育館アリーナ
参加者 99人

3 トレーニング室運営事業

体格・体力を測定し、個人評価を基に、効果的なトレーニング方法の指導を図るため、トレーナーをトレーニング室に配置した。また、正しく、安全に機器が取り扱えるよう週2回の利用者講習会を開催した。

・講習会受講者数 272人 ・年間利用者数 延べ 8,421人

4 社会体育施設等の利用状況

・総合公園体育館 76,358人 (トレーニング室利用者含まず。)
・総合公園グラウンド 21,350人
・総合公園テニスコート 6,390人
・第2町民グラウンド 4,124人
・野間中グラウンドナイター 1,097人

第7 図書館運営事業

1 美浜町図書館協議会

開 催 日 平成25年7月4日 (木)
協 議 事 項 ・平成24年度の実績報告について
・美浜町図書館の現状について
・平成25年度事業計画について

2 図書館の現況

・平成26年3月31日現在の蔵書数 140,061点
・平成25年度貸出人数 48,057人
・平成25年度貸出点数 201,696点
・平成25年度資料購入点数 5,527点
・平成25年度来館者数 90,384人

3 図書館活動

- (1) ブックスタート（はじめまして絵本）事業
平成23年度に、美浜町図書館開館10周年を記念して始めたブックスタート「はじめまして絵本」事業を平成25年度も引き続き実施した。保護者に本を介して子どもと楽しいひとときを感じてもらい、心安らぐ子育ての時間を持つきっかけを作り、また、親子とも本への関心を深めることにより、将来にわたり、図書館の利用率を高めるため、平成25年、24年生まれの子を対象としてその保護者に絵本をプレゼントした。
- (2) 読書週間行事
《子ども読書週間（4月23日～5月12日）》
日本福祉大学児童文化部「あかとんぼ」による人形劇の上演を行った。
・開催日 平成25年4月28日（日） ・参加者 保護者20人、子ども29人
《読書週間（10月27日～11月9日）》
・GO!GO!としょかん（期間中に貸出し5回以上された方に記念品を贈呈）
・古本リサイクル ・除籍雑誌の無料配布（791冊/希望者215人）
・小学生10名による図書館司書体験
- (3) 読み聞かせ会
読み聞かせボランティア団体（海の子文庫、空とぶじゅうたん、ぶっくふれんず）及び図書館職員による本、紙芝居の読み聞かせを館内のお話のへやで、毎週木曜日と土曜日に開催した。
開催回数 98回 参加者延べ人数：2,314人
- (4) ブックトーク
図書館運営指導員等が、町内の小中学校に出向いて、テーマに沿った本を紹介し、読書意欲の喚起を図った。
実施日
布土小学校 平成25年10月4日（4年生）
河和小学校 平成25年10月4日（4年生）
河和南部小学校 平成25年9月11日（4・5・6年生） ・10月18日（4年生）
野間小学校 平成25年 9月4日（2年生）
上野間小学校 平成25年 7月2日（3・4年生） ・7月3日（1・2年生）
7月4日（5・6年生） ・10月2日（4年生）
野間中学校 平成26年1月30日（3年生3クラス） ・2月25日（2年生3クラス）
- (5) 園児絵画展
平成25年5月～平成26年2月まで、町内保育所及び大和幼稚園の年長児の絵画作品をお話のへや横の掲示スペースに展示した。
- (6) 新美南吉生誕100周年記念事業
新美南吉生誕100周年を記念して、4月から11月にかけて事業を実施した。
実施内容 4月～展示
8月 特別展開催、「私の好きな南吉童話」アンケート募集
新美南吉講座講座（講師：河村恵子氏 参加者18人）
11月 新美南吉お話し会開催
- (7) 図書館見学
・町内6小学校 3年生
・南知多町立日間賀小学校3・4年生
・南知多町立篠島小学校4年生
・町内赴任新任教諭
- (8) 実習生受け入れ
中学生の職場体験学習を受入れた。
・河和中学校 2年生 2人（8月2.3.6日の3日間）
・野間中学校 2年生 4名（8月8.9日）

第8 学校給食センター管理運営

1 給食センター運営委員会

開催日 平成25年7月4日（木）
協議事項 給食センターの管理・運営の現状について

2 学校給食の状況

学校給食は、児童生徒の心身の健全な育成を目指し、学校給食法に基づいた学校教育の一環として、栄養のバランスを配慮した安全で衛生的な食事の提供を行った。

また、児童生徒に栄養教諭・学校栄養職員が行う、食に関する指導を通して、よき人間関係の育成と食事のマナーの習得についても意識させた。

(1) 学校給食対象校及び給食数（平成25年5月基本食数）

小学校	6校	1,363人
中学校	2校	784人
計	8校	2,147名

(2) 年間給食回数 185回（8校平均）

(3) 延べ給食数 386,392食

(4) 給食1食当りの費用内訳（消費税及び地方消費税含む）

区分	主食代	牛乳代	副食代	計
小学校	47円73銭	46円45銭	135円82銭	230円
中学校	60円17銭	46円45銭	153円38銭	260円

(5) 給食費の収納

小・中学校及び給食センター、学校教育課が協力連携し収納事務を円滑に処理するため、美浜町学校給食費収納要領（平成23年4月1日施行）を制定した。

・平成25年度給食費未納額 30,420円

3 食に関する指導

(1) 全体指導

食に関する基本的な知識や、心身ともに健康な生活を送るため、学校給食法の目標を達成できるよう栄養指導等を行った。

① 特別活動（学級活動）

児童生徒の食への関心を高め、健康の自己管理能力を育成するために行った。

計69学級実施

対象学年	指導内容
小学校 1年生	給食の秘密を知ろう
2年生	野菜を食べよう
3年生	魚を食べよう
4年生	バランスよく食べよう
5年生	米を見直そう
6年生	食生活を見直そう
中学校 1年生	朝食の大切さを知ろう
2年生	カルシウムをしっかりとろう
3年生	考えて作ろう 選ぼう 私の昼食

② 心を育む学校給食週間

豊かで思いやりの心をもつ生徒を育成するねらいで行った。

③ 愛知を食べる学校給食

地場産物への理解や環境に配慮することのできる児童生徒を育成する目的で、毎月19日の「食育の日」に行った。

④ 学校給食週間

「強くしよう心と体！一スポーツ選手の食事から学んで」と題し、児童生徒に健康な体を作るには、食事を始めとする生活の見直しが必要であることを知らせた。

- ⑤ 卒業祝い給食（小学校6年生・中学校3年生）・セレクト給食（全児童生徒）
料理を選択する楽しみをもたせ、仲間と楽しく会食することを目的にして行った。

(2) 個別指導

食に関わる個々の児童生徒の状況に則した指導を行うことで、充実した学校生活を送れるよう配慮した。

① 食物アレルギーをもつ児童生徒とその保護者への指導

該当児童生徒とその保護者に面談を行い、使用食材の詳細資料を配付した。また、食材や調味料の一部を除去した調理を行った。

② 肥満傾向児童への指導

食事を含む生活習慣の改善を図るため、該当児童生徒とその保護者を対象に食事指導や生活指導を行った。

(3) 学校・地域への指導

児童生徒及び保護者が食への関心を高め、家庭で望ましい食習慣が形成されることを目的として行った。

内容

学校保健委員会	町内小中学校2～3回
料理教室	夏休み親子料理教室 7月26日(金)
学校給食試食会	町内全小学校
献立表、食育・給食だより	(献)毎月、(食)毎月、(給)学期に1回

Ⅶ 総合評価

平成25年度当初に計画した事業を予定どおり実行できたことにより、教育委員会を活性化することができました。

平成25年度美浜町教育委員会重点努力目標についても、7項目の目標が達成でき、平成26年度につなげることができました。

総合計画及び努力目標に示された事項だけでなく、委員が参加できる各種委員会、協議会には委員全員が積極的に参加し、会議の活性化を図ることができました。

また、「みはまの教育・合い言葉」の推進も努力目標に示して、委員自らがあいさつの中で啓発し、その普及に努めました。

平成26年度の重点努力目標につきましては、平成27年4月から施行されることとなっております教育委員会制度の改革に向けて、本町教育委員会として今後どうあるべきかを精力的に調査研究していく必要があるほか、平成25年11月に改定されました第5次美浜町総合計画において「人が学び合い、育ちあうまちづくり」の実現に向けて掲げている施策の中から、美浜町として喫緊の課題として対応すべき目標を掲げ、その実現に向けて取り組んでいきたいと考えております。

評価者

美浜町教育委員会

委員長 加藤 信

職務代理 川上 英雄

委員 中野 俊夫

委員 伊藤ふき子

教育長 山田 道夫

Ⅶ 点検評価委員による評価

横田 和弘 委員（元美浜町教育委員会委員長）

滋賀県大津市のいじめ問題への教育委員会の対応のまずさなどをきっかけに、国会で審議されていた教育委員会制度の改革が平成27年4月から施行されることになりました。

何が問題となって教育委員会制度の改革案が浮上したか。その課題を、今一度教育委員会で把握し（文科省中央教育審議会教育制度分科会 地方教育行政部会の報告等）、検証、自己評価し、さらに美浜町教育委員会として、何が不易流行か、美浜町教育委員会が他の市町に誇れる独自性を含めて、是非検討していただきたいと思います。

以下、いただいた報告書に関して、評価委員として気づいた点について、要望等含めて述べさせていただきます。

○第4次美浜町総合計画の教育委員会関連部分の主要施策について

- 1 学校施設の計画的整備の中で、トイレの洋式化を含めた思い切った改修工事がなされました。生理的な要因で不登校になる。或いは尿意・便意を我慢して体調不良に陥る懸念が顕在化する前のこの施策は大いに評価したいと思います。事務局が事前に改修見積りを取っていたことが、国からの交付金に対して素早い対応ができた成果だと思います。
- 2 いじめ・不登校への対応は、今回の教育委員会制度改革の起因になっている事柄であり、万が一に備えて十分な対応策が迅速にとられるように用意するとともに、常日頃から児童生徒、保護者、地域住民等の悩み、希望、意向等に学校と連携して迅速に対応できる体制を整えておかれることを願います。

○平成25年度美浜町教育委員会 重点努力目標について

- 1 「みはまの教育・合い言葉」の普及に関しては、町内全域で草の根的な広がりを期待したいと思います。教育委員会として、また、特に教育委員個々人が、どのような方策で普及に努めたかの情報交換を常々行い、評価し合うことは意義のあることだと思います。
- 2 定例の学校訪問・学校視察は当然のことながら、是非、教育委員各位には時機をとらえて積極的に学校を訪問し、学校の要望、抱えている不安等を聞き出して、委員会全体で対応策を協議していただきたいと思います。また、地域と学校の間には教育委員会が在ることへの具体的方策として、積極的に保護者との接点を持つ機会を自ら考え出し、具現化していただきたいと思います。
- 3 日本福祉大学は本町の財産です。子ども発達学部の創設で、はじめて組織的な繋がりができたのも過言ではないと思います。美浜町に移転してから30年余り経って、やっ

と、ここ数年、組織的な連携が構築出来てきた認識をしっかりと持ち、さらなる連携の可能性の検討を是非行っていただきたいと思います。

- 4 情報モラルの確立は喫緊の課題です。機会をとらえて「みはまの教育・合い言葉」に関連付けて、確立に向けてPTAと連携した取り組みをさらに強化していただきたいと思います。

総 括

本年度も、学校教育のみならず、家庭教育、社会教育等の指導・支援の重責を担っている教育委員会の各分野の施策は、多くの成果を上げられていると評価したいと思います。

また、教育委員会委員の活動状況を拝見するにいたり、いかに多くの時間を美浜町の教育のために費やされているか大いに評価したいと同時に、それこそが美浜町の教育を縁の下で支える大いなる力となっていることを、そしてこのことを放棄すれば、世の中の形骸化した、名誉職化した教育委員会にすぐに陥ってしまう危険性をはらんでいることを是非認識しておいていただきたいと思います。

浦瀬 英輔 委員（元美浜町立河和中学校長）

昨今の教育を取り巻く状況は極めて速いスピードで進行しています。ことに、現政権発足後は学校教育に関して、矢継ぎ早の改革が議論の余地なく求められています。そのような中、教育委員会は「子どもたちの幸せを実現する」という使命を最優先に事業に取り組んでいただきたい。

本報告書からは、多岐にわたる事業を円滑に展開され、多くの成果をあげておられることがうかがえます。大いに評価されるべきことと思うと同時に、感謝と敬意を表すものがあります。

以下、評価委員として感じたことを述べさせていただきます。

○教育委員の活動状況の中には、町および町教委主催事業をはじめ、各小中学校における学校訪問や各種行事等への出席が多く記録されている。その数の多さは、教育委員会事業の実態把握に努めようという委員の熱意の表れであると思うが、歴代教育委員の思いが継続されているものと理解している。今後も現場の実態把握を町の教育施策に反映させていただきたい。

○「みはまの教育・合い言葉」は誰でも実践できる具体的でわかりやすい標語であり、町民すべてに普及・実践していただきたい行動目標であると思う。制定当時の原点に思いを馳せ、各学校や地域でさらなる活用、定着を目指してほしい。

○いじめや不登校等への対策については対策協議会の設置、全小中学校での現職教育、アンケート等を実施し、早期発見・早期対応に取り組んでいただき、地道に成果をあげていただいていることを評価したい。

しかし、全国的にはいじめに端を発する悲惨な事例が後を絶たない。それらを身近な例に置き換えるなどして、一層きめ細かな取り組みをお願いしたい。

○教育関係施設の改修・修繕は先見性をもち計画的に実施されている。児童生徒をはじめ利用者が快適に利用できるよう配慮されていることを評価したい。また、防災教育でも各小中学校をはじめ各施設の防災対策を見直すとともに、児童生徒・保護者などの防災意識の向上を図られたことを高く評価したい。

○生涯学習については「子ども教室」「一般教室・講座」ともに前年度よりさらに充実・活性化を図り、成果をあげていることが評価できる。また、青少年教育・家庭教育等においても幅広く継続的に事業を展開することにより一定の成果を生み出していることは評価できる。

現在の社会教育事業は高齢社会に対応した「みはま寿大学」、青少年健全育成事業では学齢期（小中学生）対象の施策が主に実施されている。できれば、未来の美浜の発展を担う青年層が、自分たちの将来、自分たちの美浜について考え、将来の美浜町の活性化につなげるような企画を期待したい。

○学校給食事業においては栄養のバランスを配慮した、安心・安全で衛生的な食事の提供に苦心されたことを大いに評価したい。とくに、岐阜県や静岡県などで起こった給食に関する事故の話題を聞くにつけ、何事もなく当たり前に行われていることの中に関係者の只事でない努力が詰まっていると思う。今後もさらに安全で安心な学校給食の実施を期待したい。

一点、危惧することは消費税上げに伴う給食費値上げが回避されたことである。もちろん、値上げしなかったことは保護者にとって歓迎されたと思うが、様々な材料費が上がる中、質を落とさぬ献立は家庭の献立を見ても明らかであり改定されるべきものと思う。